

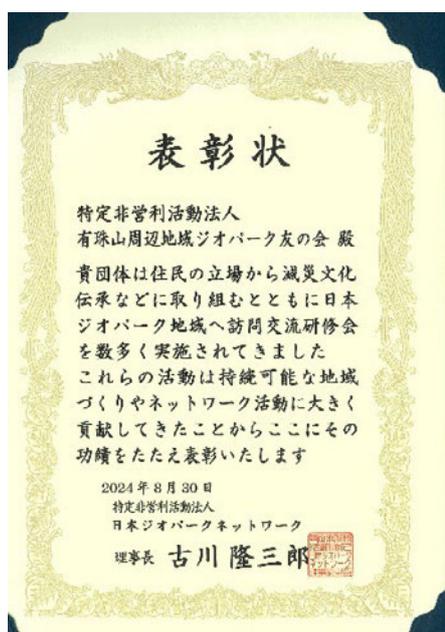
第14回JGN全国大会（下北大会）8月30日～9月1日 参加報告書

所属：NPO 法人有珠山周辺地域ジオパーク友の会 職：氏名 代表理事 三松三朗

大会参加日程及びジオ友参加者動向表は当会事務局長提出報告と同じにつき省略

JGN 下北大会の参加については個人的には体力の衰えもあり、躊躇するところが大きであったが、洞爺湖有珠山ジオパーク推進協議会事務局から本年度全国大会での貢献団体として「ジオ友」を推薦頂き、JGN の表彰決定の連絡を受けたことで、下北GP ファンとして内心再訪をしたかったこともあり表彰式列席を決意した。この機会を与えて頂いたジオ協事務局に深甚なる感謝の意を申し述べる。8月30日 15:00～16:00、下北文化会館大ホールでの開会式は大会関係者挨拶及び来賓祝辞で始まった。えてしてこうした会合の挨拶は定形的であるが（授賞式に備える極度の緊張感のためかも知れないが）、白眉であったのは元むつ市市長であった宮下宗一郎氏（現青森県知事）の無原稿の流れるような、且つ下北ジオパーク認定までの苦労、これにかかる熱情の吐露であった。第二日目（10月30日）私がメインに参加した「しもきた克雪ドーム」会場で氏の想い、影響力、パワーを如実に感じた。

関係者の挨拶、祝辞に続いて表彰式である。一感謝状：NHK「ブラタモリ」製作チーム（ジオパークの面白さと奥深さを茶の間に届けた貢献度は特筆すべきであろう）。表彰は2団体でマリエント「ちきゅう」たんけんクラブと「ジオ友」である。それぞれの業績は早くから舞台裏に待機させられていた事と歳に相応しく難聴の傾向で詳細は不詳であったが、小学生がズラリと並んでいた事から地道なフィールド活動を実践されてきことに対する受賞と想像した。ジオ友は道内関係団体としては初の受賞との事。壇上に参加者全員8名が壇上に並び中田節也ジオパーク委員会委員長から表彰状を手交された。記念撮影ではつい新山頂上での「山ポーズ」をやってしまった。ゴメンナサイ。



開会セレモニーの授賞式を終えて、翌日からの「まんぶくまさかりマーケット」でのジオ友手芸部会出店準備のため克雪ドームに移動し、全員で飾り付けを実施したが、17:00のタイムリミットで退場。ホテルチェックイン後「むつマエダアリーナ」に向かった。

8月30日 大交流会 18:30~20:30 むつマエダアリーナ

実に巨大な施設で私には所定場所（テーブル指定）への移動も青息吐息状態。大勢の出席で立食パーティーであり、2時起立は無理なので椅子を所望。ために交流会の本意からはずれ、もっぱら新鮮な海産物に手を伸ばすばかり。が次々と全国各地の友人知人が席に来てくださり、談笑・記念写真で立ったり座ったり。残念ながら記憶力の衰えで「記念館でご説明頂きました」「新山に案内頂きました」「ジオパーク構想のピントを伺いに行きました」とか自己紹介いただいても多くは鮮明に思い出せず失礼の数々であった。が、個人的には火山お宅としての足跡の一端を感じた楽しいひと時であった。会場でマグロの解体ショーがあり、皆さんテーブル周りで多忙な間、大・中トロ、赤身を存分に食し夢心地であった。



8月31日 克雪ドームにて 参加者は午前中エクスカーション・ツアーやモンベル会長の基調講演、海自の特別体験などに参加、ジオ友の手工芸品即売コーナーは部会長が店番の中心で手薄のため、トイレ、昼食、休憩時の補助役としてドームで終日過ごした。巨大な空間の内外は参加者の利便のための名産・特産のショッピングコーナー28店舗、ジオパークに関連する組織団体のデモンストレーションコーナー40区画（内、純ジオパークの参加は下北 GP、洞爺湖有珠 GP、銚子 GP の三地区）、そして参加者の胃を満たすキッチン・カー、屋台など42店舗とこの大会にかける熱気むんむんであった。同施設内で午前中、小中高校の発表会があった。まさかりエリアの全学校が参加、しかも全校生徒が次々観覧席をうずめ、各校が工夫を凝らした発表を行っているのは驚きであった。ジオ友の樹皮利用の籠も多くの人々の関心を引いたようである。道路の視界障害物である樹木を道路管理者と共にボランティアで参加、伐採・樹皮を剥ぎ、それを原材料として編んだことを一連の写真と共に説明すると流石ジオパーク関係者、興味を以て対話し、参考にするとお買い上げ頂いた。@300~@8000の品々で90,000弱の売り上げであったという。

昼食は全国軍港で評判の「海軍カレー」を狙ったが販売箇所が見つからず、品薄、屋内持ち込み禁で軒下のいす席が空くのを待って13:00頃やっと食べることができた。コロケと共に絶品。私にとっての下北大会参加のメインの目的は14:00~15:30の大会記念シンポジウム「ジオパークから災害を考える」の聴講であった。減災お宅の戦友、雲仙災害記念館の杉本伸一氏と磐梯山噴火記念館の佐藤公氏が独自に企画したもので、これの詳細が公表されず、公式プログラムの受領で内容等確認し、ワクワクの想いであった。特に杉本氏とは元NHK解説員伊藤和明先生とCeMI宇井英忠先生企画の海外火山歴訪（セントヘレンズ、キラウエア、イタリア、ニュージーランド、アイスランド等）に旅費の工面に四苦八苦し、家族の白い目を感じながら一緒にしたこともあり、日本の南北

私にとっての下北大会参加のメインの目的は14:00~15:30の大会記念シンポジウム「ジオパークから災害を考える」の聴講であった。減災お宅の戦友、雲仙災害記念館の杉本伸一氏と磐梯山噴火記念館の佐藤公氏が独自に企画したもので、これの詳細が公表されず、公式プログラムの受領で内容等確認し、ワクワクの想いであった。特に杉本氏とは元NHK解説員伊藤和明先生とCeMI宇井英忠先生企画の海外火山歴訪（セントヘレンズ、キラウエア、イタリア、ニュージーランド、アイスランド等）に旅費の工面に四苦八苦し、家族の白い目を感じながら一緒にしたこともあり、日本の南北

私にとっての下北大会参加のメインの目的は14:00~15:30の大会記念シンポジウム「ジオパークから災害を考える」の聴講であった。減災お宅の戦友、雲仙災害記念館の杉本伸一氏と磐梯山噴火記念館の佐藤公氏が独自に企画したもので、これの詳細が公表されず、公式プログラムの受領で内容等確認し、ワクワクの想いであった。特に杉本氏とは元NHK解説員伊藤和明先生とCeMI宇井英忠先生企画の海外火山歴訪（セントヘレンズ、キラウエア、イタリア、ニュージーランド、アイスランド等）に旅費の工面に四苦八苦し、家族の白い目を感じながら一緒にしたこともあり、日本の南北

に暮らす関係上、下北で今生の感謝と別れをしたいと考えていたが、なんと台風10号で参加不能との事。PPTで減災の思いを披露された。代役は我れらが横山光先生が見事にアドリブで勤められた。) 続いて佐藤氏が磐梯山GPの「防災減災の取り組み」をPPTで紹介。ゞに専修大学の災害地理学を指導する鈴木比奈子先生が「ジオパークから災害を考える」と題したレクチャーがあった。三氏のPPTは全コマ写真に残したが、ここでは紹介せず希望者には個々に対応予定。同時刻加賀谷にれさんのVM制度と有効活用についての発表が隣のブースで進行していたが拝聴は出来なかった。

下北大会への参加者としての印象

大会全般の骨格部分は非の打ちどころのない立派な大会で、これに参加できた喜びは極めて大である。また大勢のスタッフの配置、対応は頭の下がる思いであり、そのアットホーム感はただ感謝である。あえてより良き大会のために申し上げれば、メール配信の企画概要では詳細が読み取れず、3日間の行動予定を決めるのが極めて困難であった。大会プログラムには口頭発表、ポスター発表の詳細記載がなく、やっと確認できたのは発表ブースの壁面に掲示されたA4サイズ1枚のプログラムであった。オール発表は3ブースで同時進行であり、この部門に焦点を当てた者には惜しまれる。出店紹介も拠点の記載であったが、何の出店かわかれば利用しやすかったように思う。また、シャトルバスのダイヤ(始発~終点)は情報が流れたが、途中からの利用法は不詳で出発前に計画できず会場アクセスに戸惑った。勿論すべては照会せぬ私が悪いのだが)。

2025 十勝岳大会に備え

人口7万余のむつ市を中心とした大会で感じたのは、現実には台風の影響で10%減とはいえ、700人余の参加者を受け入れた力である。海上自衛隊・原発とかを抱え、立派な施設が整備され、強いリーダーシップで盛り上げたバックアップ組織のパワーを滞在中ひしひしと肌と感じた。明年の美瑛・上富良野大会を成功させるために、オール北海道での支援施策を今からでも検討しておくことが重要と思はれる。

口頭発表 (一般の部) 4

日時: 2024年8月31日(土)
 9時30分~12時00分 一般の部 13時00分~13時30分

口頭発表ブースA

時間	発表者名	発表タイトル	所属	発表内容	発表形式
13:00-13:15	横山 光	減災の取り組み	専修大学	防災減災の取り組み	ポスター発表
13:15-13:30	佐藤 氏	磐梯山GP	磐梯山GP	磐梯山GPの取り組み	ポスター発表
13:30-13:45	鈴木 比奈子	ジオパークから災害を考える	専修大学	ジオパークから災害を考える	ポスター発表

口頭発表ブースB

時間	発表者名	発表タイトル	所属	発表内容	発表形式
13:00-13:15	横山 光	減災の取り組み	専修大学	防災減災の取り組み	ポスター発表
13:15-13:30	佐藤 氏	磐梯山GP	磐梯山GP	磐梯山GPの取り組み	ポスター発表
13:30-13:45	鈴木 比奈子	ジオパークから災害を考える	専修大学	ジオパークから災害を考える	ポスター発表

口頭発表ブースC

時間	発表者名	発表タイトル	所属	発表内容	発表形式
13:00-13:15	横山 光	減災の取り組み	専修大学	防災減災の取り組み	ポスター発表
13:15-13:30	佐藤 氏	磐梯山GP	磐梯山GP	磐梯山GPの取り組み	ポスター発表
13:30-13:45	鈴木 比奈子	ジオパークから災害を考える	専修大学	ジオパークから災害を考える	ポスター発表



この大会は、洞爺湖有珠山ジオパークの推進を図るべく、洞爺湖、有珠山、加賀谷、磐梯山、横山、白根山、

大会報道 ホテルで全国大会をどう報じているかチェックしたが、ローカル紙である東奥日報がわずかに報じ、全国紙では見当たらなかったように思う。残念。参考までに記事を掲載する。

